

2020/11/17-2

(うと Q 世話し どちらが先か? 臆病? 安心安全指向?)

現存するインテリ年配カップル (カップルの若い方が 35 歳以上、同じく 80 歳以下) は最少失点目的の「消去法」で成り立っている。決して積極選択ではないのではないか?

そんな気がしてきました。

特に女性は「消去法」の傾向が強く、男性は「その消去法の中の候補にすら残れない」事を恐れているような関係。

そんな女性の「これよりはこっちの方がまだしもマシ」の安全パイ思考を敢えて裏返して予測するに、実は元々の要求レベルは極めて高く、かといって冷徹な損得勘定に照らせば到達しそうもないので、取り敢えずリスクオフのポジションを取って安全パイを選んでいるようなそぶりが散見されます。

一方男性の方は、女性の「隠された要求の高さ」を薄々は感じているので、何かの機会に女性本人がその内在欲求に気づき、それを切り出されたら一溜りもない事を無意識に察知しているのでしょう。男性陣は何と見られようと、彼女ら自身が今はそれとは気づかずにいるのを幸いに、取り敢えずはうすら惚けて、そちらには蓋をし「消去法次元」での話に留めるべく「唯々諾々」ベースで「ぬれ落ち葉族」(現役世代も含めて) を敢えて演じているのかもしれません。

女性は自分にとっての「最高」を鼻から諦め、男性はこれ又鼻から「最悪」を回避する行動の日々。

これらは全て「安心安全指向」から生み出された「最大最悪の心理的弊害」のような気がしております。

ここでいう「安全安心指向」とは事においてもリスクを取らず、常にバッファーを設けて本体や本心をセンターから微妙に外したりずらしたりする心理状態を指しております。

それにしても我が国のインテリ男女はなぜこう迄「臆病」になってしまったのか?

これまた一考に値する気が致しております。

「臆病」という資質レベルの話と「安心安全指向」という思考レベルの話。

さて、どちらが先だったのでしょうか? どちらがより根深いのでしょうか?

付記)

インテリの定義が学卒であるなら恥ずかしながら自分もインテリの部類に属します。年齢は 67 歳なので完全に上記対象範囲内です。しかしカップルではないので、立場的には微妙です。それというのも、自身そうなった場合の検証がまだきちんとはできていないからです。それと、現在も、一人住まいとはいえ、お化けが怖くて深夜のトイレに行くのを先延ばしする程「肝っ玉の小さい人間」である事は 100%認めます。